

平成25年度 調査研究「出張フォーラム」の募集

自治調査会では、平成25年度から普及啓発事業の一環として、前年度に実施した調査研究の内容を多摩・島しょ地域市町村職員の方々に広くお知らせし、行政運営や業務執行に役立てていただくことを目的に、担当研究員が直接各市町村に赴いてプレゼンテーションを行う「出張フォーラム」を実施しています（対象調査研究の詳細は7～11ページをご覧ください）。

「出張フォーラム」は、平成26年6月2日から10月31日までを実施期間としており、募集の受付は、実施希望日の3週間前までとなっております。「これはぜひ聞いてみたい。」と思うようなテーマがありましたら、4月21日付で多摩・島しょ地域各市町村の企画担当課へお送りしました「出張フォーラム希望票」にご記入の上、自治調査会調査部までご提出ください。皆様からの応募をお待ちしております。

平成27年度 調査研究テーマの募集

今号では昨年度発行の調査研究報告書を紹介しましたが、来年度の調査研究テーマの選定の参考とするため、各市町村に対して平成27年度調査研究テーマ要望の調査を7月末まで実施しています。

調査票等は7月1日付で多摩・島しょ地域市町村の企画担当課へお送りしておりますので、ぜひ多くのテーマ要望をお寄せください。

テーマ募集とあわせて、調査研究報告書の活用状況に関するアンケート調査も実施しています。アンケートの結果については本紙11月号で報告します。

編集後記

つい先日閉幕したサッカーW杯。「本当にスタジアムは出来上がるのか？」世界中をやきもきさせながら、何とか開幕にこぎつけましたが、定時運行なら世界一かもしれない日本人にはお国柄の違いを感じた方も多いと思います。

筆者があるラテン系国の田舎を旅していたときのこと。現地案内人は待合せ時刻をとうに過ぎても現れません。結局30分程遅れて悠然と登場しましたが、その地域では「いつものこと」だそうです。啞然とした一方、そんな緩やかな空気が地域の魅力を放っていることも悟った瞬間でした。

今号では有識者の方々に寄稿をいただきました。「オリンピックと市町村」と「姉妹都市・友好都市交流の新たな可能性」です。異文化交流でお互いの違いと良いところを学び、共に発展する。内向きにならず、新たな刺激を得ることが自治体にとっても、我々自身にとっても大切だと感じています。東京オリンピック・パラリンピックもその契機になればと思います。

(T・H)

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL：042-382-0068
URL：http://www.tama-100.or.jp/
責任者 石井 恒利



再生紙を使用しています